

Fairy TopⅨ 2010 候補作一覧

❖ 推理将棋・ブルーフゲーム部門 候補作一覧

推1～推36 詰将棋メモ 出題

P2～P21

推37 詰四会フェアリー作品展

P22

候補作は全37作。2010年にネット上に掲載された作品となります。目次の通り掲載年月日順ではなく、発表場所別に分類しております。

作者別発表数は以下の通り

DD++ 13作、タラパパ 6作、渡辺秀行 4作、ミニベロ 3作、けいたん 2作、夏休み 2作、〇術師 1作、鈴木康夫 1作、dsk 1作、はなさかしろう 1作、赤い影法師 1作、小春日和 1作、一乗谷醉象 1作

推1 2010/2 タラパパ作

宝船 9手

「今年の初対局、怒涛の攻めで9手で詰ませたぞ」

「3つの筋で、銀頭に金がいる所を見たけど....」

「宝船みたいで豪華だろ？」

〈詰将棋メモ 第30回出題 第1番〉

▲7六歩、▽3二金、▲3三角不成、▽4二銀、▲同角不成、▽5二玉、▲6二銀、▽7二金、▲5一角成 まで9手

正解者：13名

推2 2010/2 渡辺秀行作

同一局面詰め入門(1) A君の見た将棋 10手

A君「お互い10手で同一局面の詰みで勝つとは珍しいねえ」

B君「しかも最初の3手と最終手も同じだね」

A君「僕は一つの駒しか使わなかったよ。先手は最後の角がマズかったね」

B君「僕の棋譜は『同○、同△』という手順があったよ」

さて、どんな将棋だったのでしょうか？推理してくださいね。

〈詰将棋メモ 第30回出題 第2番〉

▲7六歩、▽3二飛、▲3三角不成、▽4二飛、▲7七角不成、▽3二飛、▲5八金右、▽3七飛不成、▲6八角、▽3九飛成 まで10手

正解者：10名

推3 2010/2 渡辺秀行作

同一局面詰め入門(2) ■君の見た将棋 10手

A君「お互い10手で同一局面の詰みで勝つとは珍しいねえ」

B君「しかも最初の3手と最終手も同じだね」

A君「僕は一つの駒しか使わなかったよ。先手は最後の角がマズかったね」

B君「僕の棋譜は『同○、同△』という手順があったよ」

さて、どんな将棋だったのでしょうか？推理してくださいね。

〈詰将棋メモ 第30回出題 第3番〉

▲7六歩、▽3二飛、▲3三角不成、▽同飛、▲5八金右、▽3六角、▲同步、
▽同飛、▲6八角、▽3九飛成 まで10手

正解者：10名

推4 2010/3 ミニベロ作

久々の三捨利警部 歩で取った駒 9手

「今回の9手で詰んだ事件ですが、空成りがあったようですね」

「歩で取った駒を1段目に打ったことも確認されています」

「それだけ証拠があれば簡単だよ。君たちで解決したまえ！」

〈詰将棋メモ 第31回出題 第1番〉

▲7六歩、▽6二玉、▲3三角不成、▽7二玉、▲5一角成、▽6六角、▲同步、
▽5二金右、▲6一角 まで9手

正解者：12名

推5 2010／3 渡辺秀行作

端に飛成 10手

推理将棋新聞より

「第n回推理将棋名人戦七番勝負の第3局は序盤から端に飛が成る急展開で、10手で名人の玉がトン死する大波乱となった。勝った挑戦者は『5手目が4手目と同じ筋の着手で付き合ってくれたので助かった』と感想を述べている。」

<詰将棋メモ 第31回出題 第2番>

▲3ハ銀、▽3四歩、▲3九金、▽4四角、▲4九玉、▽1七角不成、▲1ハ飛、
▽3九角不成、▲1三飛成、▽4ハ金 まで10手

正解者：11名

推6 2010／3 はなさかしろう作

交通規制 11手

「道路工事で渋滞か。退屈しのぎにさっきの棋譜を検討しようか」

「11手で詰んでいるね」

「角は”成”と”打”が付いている手が一つずつあるだけだな」

「金は4手目に”左”が付いている手があるだけだよ」

「”不成”が付いている手もあるね」

「こんなに交通規制が厳しいと行けるところが限られてしまうな」

<詰将棋メモ 第31回出題 第3番>

▲7六歩、▽4二飛、▲3三角成、▽5二金左、▲4二馬、▽同 玉、▲5一飛、
▽3二銀、▲2一飛不成、▽3三角打、▲3四桂 まで11手

正解者：10名

推7 2010/4 ミニベロ作

三捨利警部の推理 主犯は誰だ 11手

「警部、今度の11手詰事件は、小駒の成駒による連續王手です」

「2手目は分かるかね」

「はい、4筋の手であることは判明しています」

「なるほど、主犯は分かった。もしかしたら新しい手口かもしれないよ」

<詰将棋メモ 第32回出題 第1番>

▲7六歩、▽4二玉、▲7七桂、▽5四歩、▲8五桂、▽5三玉、▲7三桂成、▽6四玉、▲7四成桂、▽6五玉、▲7五成桂 まで11手

正解者：13名

推8 2010/4 DD++作

両隣の将棋(1) 9手

「隣の将棋、あっという間に詰んだね」

「先手が指したのは1枚の歩を4回動かしたのと、飛の手1回だけか」

「その飛の手直後の7筋の手はびっくりしたよ」

「4手目の5筋の手も興味深い手だ」

「この短手数なのに成る手が2回もあったんだね」

「9手で勝った先手は気分よかっただろうね」

「え、後手が10手で勝ってなかつた？」

「あれ、もしかしてそっち側の隣の話してたのか」

どうやら、両隣の全く別手順の将棋を見ながらも会話が成立していたようです。

両隣の将棋はどういう将棋とどういう将棋だったのでしょうか。

<詰将棋メモ 第32回出題 第2番>

▲6六歩、▽6二玉、▲6五歩、▽5一金左、▲6四歩、▽3四歩、▲6八飛、▽7七角成、▲6三歩成 まで9手

正解者：15名

推9 2010/4 DD++作

両隣の将棋(2) 10手

「隣の将棋、あっという間に詰んだね」
「先手が指したのは1枚の歩を4回動かしたのと、飛の手1回だけか」
「その飛の手直後の7筋の手はびっくりしたよ」
「4手目の5筋の手も興味深い手だ」
「この短手数なのに成る手が2回もあったんだね」
「9手で勝った先手は気分よかっただろうね」
「え、後手が10手で勝ってなかった？」
「あれ、もしかしてそっち側の隣の話してたのか」

どうやら、両隣の全く別手順の将棋を見ながらも会話が成立していたようです。
両隣の将棋はどういう将棋とどういう将棋だったのでしょうか。

<詰将棋メモ 第32回出題 第3番>

▲5六歩、▽3四歩、▲5五歩、▽5二飛、▲5四歩、▽5五角、▲5三歩成、
▽同飛、▲4八飛、▽7七角成まで10手
正解者：15名

推10 201009/5 タラパパ作

束縛の飛車 8手

弟子「師匠、どうして8手で詰まされちゃったんでしょう？」
弟子「駒成のない淡白な将棋は得意なのに」
師匠「どうしてもこうしても、3手指し終わった局面見てみなさい」
師匠「君の飛車、どこにも動けないじゃないか。これで勝てるわけがなかろうよ」

<詰将棋メモ 第33回出題 第1番>

▲7八飛、▽3四歩、▲6八玉、▽6六角、▲5六歩、▽3九角不成、▲5九金右、▽5七銀まで8手
正解者：15名

推11 2010/5 けいたん作

いちご白書 11手

「さっきの将棋11手で詰んだんだって。1筋と5筋に角打ちがあったよね」
「ああ、成る手はなかったよ。それから先手は奇数筋の着手しか指さなかつたな」

<詰将棋メモ 第33回出題 第2番>

▲7六歩、▽4二玉、▲3三角不成、▽同玉、▲1六歩、▽1七角、▲同桂、▽2四玉

▲5一角、▽1四玉、▲1五歩まで11手

正解者：11名

推12 2010/5 DD++作

飛車冠 12手

「昨日将棋で12手で勝ったんだ」
「圧勝だね。勝因は？」
「最初も最後も玉頭の飛の手を指したことかな。」
「へえ、じゃあ相手の敗因は？」
「最初も最後も玉頭の飛の手を指したことかな。」

<詰将棋メモ 第33回出題 第3番>

▲5八飛、▽5二飛、▲5六歩、▽5四歩、▲5五歩、▽同歩、▲同飛、▽1四歩、▲5八玉、▽1三角、▲5七飛、▽同飛成まで12手

正解者：14名

推13 2010/6 DD++作

勇み足 9手

「昨日将棋であっという間に負けちゃったよ」
「どんな将棋だったんだい」
「最初に64歩と突いたあと、玉を、62、63、54、と進めたんだ」
「それは危ないね。で、その後は何を指したんだい」
「9手で詰まされちゃったから、それだけしか指してないよ」
「・・・」
「空成って怖いんだね」

<詰将棋メモ 第34回出題 第1番>

▲7六歩、▽6四歩、▲3三角不成、▽6二玉、▲2二角不成、▽6三玉、▲6六角成、▽5四玉、▲3六角 まで9手

正解者：17名

推14 2010/6 DD++作

中央決戦 10手

「さっき隣で指してた10手で詰んだ将棋、中央付近の着手ばかりだったね」
「着手があった筋は3~7筋の5つか」
「着手があった段も3~7段の5つだね」
「あの不成の手はちょっと意外だったな」

<詰将棋メモ 第34回出題 第2番>

▲7六歩、▽3四歩、▲7七桂、▽6六角、▲6五桂、▽5七角成、▲7三桂不成、▽同桂、▲4六歩、▽4七桂 まで10手

正解者：15名

推15 2010/6 DD++作

しりとり 11手

「11手で詰んださっきの隣の将棋、なんだか変な将棋だったね。」

「どこが？」

「3回あった飛の手がどれも不可解すぎる」

「しかたないさ、あの2人はしりとり王としりとり名人なんだから」

「というと？」

「あの将棋は、最初から最後まで着手地点がしりとりになっていたんだよ」

「ほ、本当だ！」

<詰将棋メモ 第34回出題 第3番>

▲2六歩、▽6二飛、▲2五歩、▽5二飛、▲2四歩、▽4二玉、▲2三歩不成、▽3二玉、▲2四飛、▽4二銀、▲2二歩成 まで11手

正解者：15名

推16 2010/7 DD ++作

角交換の罠 9手

「あら、たった9手で負けちゃった」

「76歩、34歩、22角成、同銀と角交換したところまでは普通だったのにね」

「この交換は罠だったのかなあ」

「そういうえばこの将棋、5筋の手は51金しかないんだね」

<詰将棋メモ 第35回出題 第1番>

▲7六歩、▽3四歩、▲2二角成、▽同銀、▲3二角、▽4二玉、▲4一角不成、▽5一金、▲3二金 まで9手 正解者：21名

推17 2010/7 タラパパ作

4枚目の歩 11手

「隣の将棋はあっけなかったな。11手で詰んじゃった」

「先輩も見てました？ボクもしっかり見てましたよ」

「先手は歩を4枚も取ったけど、中でも”同”のつく手で4枚目の歩を取った時は、指がしなってたなあ」

「そうでしたねえ～」

「歩以外の駒取りが、まったくなしに終わるのも珍しい」

「もしかしてそっちの隣？ボクが見たのは不成が3回出たこちら隣なんですけど」

◎先輩の見た将棋

〈詰将棋メモ 第35回出題 第2番〉

▲7六歩、▽6二玉、▲3三角成、▽7二玉、▲4三馬、▽4四角、▲5三馬、▽6四歩、▲同馬、▽6二角、▲5四馬 まで11手

正解者：15名

推18 2010/7 タラパパ作

小金持ちⅡ 11手

「隣の将棋はあっけなかったな。11手で詰んじゃった」

「先輩も見てました？ボクもしっかり見てましたよ」

「先手は歩を4枚も取ったけど、中でも”同”のつく手で4枚目の歩を取った時は、指がしなってたなあ」

「そうでしたねえ～」

「歩以外の駒取りが、まったくなしに終わるのも珍しい」

「もしかしてそっちの隣？ボクが見たのは不成が3回出たこちら隣なんですけど」

◎後輩の見た将棋

〈詰将棋メモ 第35回出題 第3番〉

▲7六歩、▽4四歩、▲同角、▽4二飛、▲5三角成、▽4七飛不成、▲6三馬、▽4八歩、▲同飛、▽3七飛不成、▲4一飛不成 まで11手

正解者：13名

推19 2010/8 dsk作

わが道を行く 9手

(条件)

- ・ 9手で詰み
- ・ 2手目は42飛
- ・ 4手目は5筋
- ・ 5手目は22角成
- ・ 7手目は21馬

〈詰将棋メモ 第36回出題 第1番〉

▲7六歩、▽4二飛、▲3三角不成、▽5二金左、▲2二角成、▽4一玉、▲2一馬、▽5一金右、▲3三桂 まで9手

正解者：22名

推20 2009/8 DD ++作

ゴテゴテした推理将棋 9手

(条件)

- ・ 9手で詰み
- ・ 2手目は歩の手
- ・ 4手目は金の手
- ・ 6手目は飛の手
- ・ 8手目は角の手

〈詰将棋メモ 第36回出題 第2番〉

▲7六歩、▽3四歩、▲2二角成、▽3二金、▲5二角、▽同飛、▲3二馬、▽6二角、▲4一金 まで9手

正解者：19名

推21 2010/8 ミニペロ作

急所は駒頭 9手

(条件)

- ・ 9手で詰み
- ・ 3手目は歩頭
- ・ 4手目は玉頭
- ・ 6手目は歩頭
- ・ 9手目は歩頭に駒打ち

〈詰将棋メモ 第36回出題 第3番〉

▲5六歩、▽5四歩、▲5五歩、▽5二金左、▲5四歩、▽5三金、▲同步不成、
▽7二金、▲5二金 まで9手

正解者：18名

推22 2010/8 タラパパ作

順番に大駒 9手

- ・ 9手で詰み
- ・ 3手目は3筋に大駒
- ・ 4手目は4筋に大駒
- ・ 7手目は5筋に大駒
- ・ 9手目は6筋に大駒

〈詰将棋メモ 第36回出題 参考出題〉

▲7六歩、▽3二金、▲3三角不成、▽4二飛、▲同角不成、▽4一玉、▲5三
角成、▽7二金、▲6一飛 まで9手

正解者：9名

推23 2010/9 DD ++作

“3”の魔術師 13手

「すげえ！この棋譜、13手で詰むまで全部の手に“3”がついてる！」

〈詰将棋メモ 第37回出題 第1番〉

▲3六歩、▽3四歩、▲3五歩、▽3三桂、▲3四歩、▽3二銀、▲3三歩成、▽3一角、▲4三と、▽3三銀、▲5三と、▽3二飛、▲4三桂 まで13手

正解者：20名

推24 2009/9 ○術師作

4筋が急所 10手

「第2局は10手で詰んでしまいました。K九段、講評をお願いします。」

「4筋への大駒の着手6回がポイントだったと思います。 成った手が微妙でしたか。」

さて、どんな将棋だったのでしょうか？

〈詰将棋メモ 第37回出題 第2番〉

▲7六歩、▽4四歩、▲同 角、▽4二飛、▲5三角成、▽4七飛不成、▲4八飛、▽同飛不成、▲3八金、▽4九飛打 まで10手

正解者：19名

推25 2010/9 けいたん作

王手成 11手

「さっきの将棋11手で詰んだんだって。2手目は玉の着手だったよね」

「ああ、飛成の王手と角成の王手があったよ。それから、終局時玉は4段目だったな」

さて、どんな将棋でしょう？推理してくださいね。

〈詰将棋メモ 第37回出題 第3番〉

▲7六歩、▽6二玉、▲6六角、▽7四歩、▲9三角不成、▽7三玉、▲8二角成、▽8四玉、▲7三飛、▽9五香、▲8三飛成 まで11手

正解者：16名

推26 2010/10 タラパパ作

天邪鬼な夫 10手

「あなたたった10手で詰まされたんですって？」

「最初からの4手を1・2・3・4筋の順に指されてね」

「わかった！あなた最後からの4手を1・2・3・4筋の順に指したでしょ？」

「ど、ど、どうして分かるのさ」

「その天邪鬼な性格、直したほうがいいわよ」

〈詰将棋メモ 第38回出題 第1番〉

▲3六歩、▽1四歩、▲4八玉、▽2四歩、▲3七玉、▽3四歩、▲2六玉、▽4四角、▲1六玉、▽1五歩 まで10手

正解者：20名

推27 2010/10 夏休み作

大空のキャンバス 13手

「この二人の対局は自由奔放だね。まるで大空のキャンバスに絵を描いているようだ」

「後手は8手目までマネ将棋だったのに、10手目は42角と変化したね」

「先手の歩の手は一度、取った駒も歩が一枚だけだったけど、13手で詰ましたね」

「そういえば、成る手がなかったね」

二人は盤上にどんな絵を描いたのでしょうか。

〈詰将棋メモ 第38回出題 第2番〉

▲9六歩、▽1四歩、▲9七角、▽1三角、▲5三角不成、▽5七角不成、▲3五角不成、▽7五角不成、▲5七角、▽4二角、▲5八飛、▽7四歩、▲8四角 まで13手詰

正解者：20名

推28 2010/10 DD ++作

不成5回で12まで 11手

「隣の将棋、たった11手で詰んだのに5回も不成があったとは珍しいね」

「珍しいといえば、この短手数でトドメが12っていうのも妙な場所だよね」

〈詰将棋メモ 第38回出題 第3番〉

▲7六歩、▽3四歩、▲2二角不成、▽4二玉、▲1三角不成、▽3二玉、▲3一角不成、▽4二飛、▲同角不成、▽1七香不成、▲1二飛 まで11手

正解者：18名

推29 2010/11 赤い影法師作

32に駒打ち 9手

「あの将棋、たった9手で詰んじゃったね」
「途中で発止と、32に駒を打ったあたりがヤマ場かな」
「一度だけだったけど、不成なんて手があったのには驚いたよ」
「終わってみれば、後手の41玉が負けを早めたのかな」

〈詰将棋メモ 第39回出題 第1番〉

▲7六歩、▽4二金、▲3三角成、▽4一玉、▲4三馬、▽9九角不成、▲6一馬、▽3二香、
▲5一金 まで9手 正解者：17名

推30 2010/11 DD ++作

金付き居玉の詰ませ方 10手

「この前金付き居玉のままたった10手で詰まされちゃった」
「両王手をかけられたのかな？」
「いや、トドメは駒打ちだったよ」
「じゃあ吊るし桂までか」
「いや、打たれたのは桂じゃない」
「え、本当に金付き居玉だったの？」
「うん、玉も金も最後まで初形のままだったよ」
「両王手でも吊るし桂でもない金付き居玉の詰ませ方ねえ・・・」
「あ、そうそう、普通の将棋だったから不成の手はなかったよ」

〈詰将棋メモ 第39回出題 第2番〉

▲7六歩、▽3二飛、▲3三角成、▽4二銀、▲2二馬、▽3七飛成、▲6八飛、▽3九龍、
▲5八角、▽4八銀 まで10手
正解者：16名

推31 2010／11 小春日和作

暴れ龍 13手

「隣で指してた13手で詰んだ将棋さ、先手も2つの筋、後手も2つの筋にしか指していないって気がついた？」

「龍が動く手が全部で3回もある激しい急戦だったからだろう」

「後手が同角と取る手を逃してからは、先手が指し易くなったよね」

〈詰将棋メモ 第39回出題 第3番〉

▲3六歩、▽4四歩、▲3七桂、▽4五歩、▲同 桂、▽4二飛、▲3三桂不成、▽4七飛成、

▲4八飛、▽4二龍、▲4三飛成、▽6二龍、▲4一龍 まで13手

正解者：14名

推32 2010／12 夏休み作

1度に8マス移動できる駒 9手

「隣の将棋は凄いね。一度に8マス移動する手を指したよ」

「しかもその駒は、そのあとさらに動いたぞ」

「あれれ、9手で詰んじゃった」

どんな将棋だったのでしょうか。推理してください。

〈詰将棋メモ 第40回出題 第1番〉

▲7六歩、▽3四歩、▲2二角成、▽9二飛、▲2三馬、▽1二飛、▲1四角、▽6二飛、

▲4一馬 まで9手

正解者：13名

推33 2010/12 DD ++作

左から打つべし 21手

「昨日面白い将棋を見たんだ。」
「ほう、どんな将棋だい」
「まず5手目に9筋に駒を打って王手がかかったんだ」
「いきなりか、急戦だな」
「続いて9手目、また9筋に駒を打って王手がかかったんだ」
「変な王手が好きなやつだな」
「そして13手目・・・」
「おいおい、13手目も17手目も21手目もなんて言わないだろうな」
「よくわかったね。ちなみにその21手目で詰みだったよ」
「あきれた将棋だな」
「ちなみに、成る手、後手の駒打ち、金の手は全てなかったよ」

さてどんな将棋だったのでしょうか？

〈詰将棋メモ 第40回出題 第2番〉

▲7六歩、▽3四歩、▲2二角不成、▽7四歩、▲9五角、▽6二飛、▲同角不成、▽同 玉、
▲9二飛、▽7三玉、▲3一角不成、▽8四玉、▲9五銀、▽同 玉、▲9一飛不成、▽7三
桂、▲9六香、▽8四玉、▲7一飛不成、▽8五桂、▲9五銀 まで21手

正解者：16名

推34 2010/12 DD ++作

上から打つべし 13手

「昨日面白い将棋を見たんだ。」
「ほう、どんな将棋だい」
「まず5手目に1段目に駒を打って王手がかかったんだ」
「なんか嫌な予感がするぞ」
「続いて9手目、また1段目に駒を打って王手がかかったんだ」
「この話の流れはいつもの・・・」
「そして13手目、1段目に駒を打って詰んだんだ」
「えっ、もう詰んじゃうの？」
「ちなみに、52に着手されたのは金だけだったよ」

<詰将棋メモ 第40回出題 第3番>

▲7六歩、▽3四歩、▲2二角不成、▽4二玉、▲5一角、▽3二玉、▲3一角不成、▽4二金、▲4一銀、▽同 玉、▲4二角右不成、▽5二金、▲3一金 まで13手
正解者：15名

推35 2010／12 鈴木康夫作

右から打つべし 29手

「昨日面白い将棋を見たんだ。」
「ほう、どんな将棋だい」
「まず5手目に1筋に駒を打って王手がかかってんだ」
「いきなりか、急戦だな」
「続いて9手目、また1筋に駒を打って王手がかかったんだ」
「変な王手が好きなやつだな」
「そして13手目・・・」
「おいおい、13手目以降も4手毎に1筋に駒を打って王手がかかったなんて言わないだろうな」
「よくわかったね。ちなみに29手目で詰みだったよ」
「あきれた将棋だな」
「ちなみに、成る手はなかったね。先手の取った小駒は金が1枚のみだったけれど、その金は打った後動くことは無かったよ」

<詰将棋メモ 第40回出題 第4番>

▲7六歩、▽3四歩、▲2二角不成、▽同 飛、▲1五角、▽4二飛、▲同角不成、▽同 玉、▲1二飛、▽2二角、▲同飛不成、▽3二金、▲1五角、▽3三
角、▲同角不成、▽同 玉、▲1五角、▽2四角、▲同 角、▽同 玉、▲1五
角、▽同 玉、▲3二飛不成、▽3六角、▲1六金、▽2四玉、▲3六歩、▽1
四角、▲1五角 まで29手

正解者：14名

推36 2010／12 渡辺秀行作

とどめは初手の跡地 10手

A君「10手で詰んだ変な将棋を見たよ。これが終局図さ」

B君「あれ？僕が見たのも10手で全く同じ終局図だよ。最初の図はどうだった？」

A君「もちろん、この図さ」

B君「おっ！僕が見たのも全く同じだよ！これは奇遇だねえ」

A君「何を馬鹿言ってるんだよ。最初の図が同じなのは当たり前だろ！」

B君「あっ、そうか。では3手指した図はこれだったんだけど」

A君「僕が見たのも同じだよ。とどめの着手は初手に着手した駒の元の位置だったんだ」

B君「つまり初手が26歩だとすると、その歩の元の位置は27だからとどめは27ってことだよね。僕も同様だったよ。あと、先手が最後9手目に大駒を打ったのを見たよ」

A君「そうか、僕は6手目に後手が自陣の駒を動かして成っていたのを見たね」

B君「ということは飛角香のどれかを4マス以上動かしたってことか」

A君「そういうことになるね」

A君の見た将棋とB君の見た将棋は、同一ではありません。

両方の手順を答えてください。

<詰将棋メモ 第40回出題 第5番>

(A君の見た将棋)

▲7八金、▽3四歩、▲7六歩、▽3三角、▲6八飛、▽7七角成、▲4八銀、
▽7八馬、▲5八飛、▽6九金 まで10手。

(B君の見た将棋)

▲7八金、▽3四歩、▲7六歩、▽8八角成、▲5八飛、▽4八角、▲同 銀、
▽7八馬、▲8八角、▽6九金 まで10手

正解者：9名

推37 2010/9 一乘谷醉象作

桂ががんばった堂々巡り

「4手目から『同X』を連続して48手目で詰んだよ。7回目の王手だった」
「ホントかい?投了図を見せてよ。ホウ、桂ががんばっている面白い形だね。
先手陣にいる駒は先後合わせてたった4枚だけど隣あっている駒がないね」
「そうなんだ。飛を飛不成で取り、桂を桂不成で取る新定跡だった。しかも、
桂を桂不成で取る手は16手目と42手目の2回もあった」
「へえ。棋譜も見せてよ。ホウ、ずいぶん不成りが多いね。成りは王手の1回
だけか。連続王手も2度あったね。角の連続王手では歩を2枚取った。
先手は68と38で銀を連続してとられたのが痛かったね」

◎48手で詰み。王手は7回。成りは王手の1回のみ。

◎先手陣(7~9段目)にいる駒は4枚で駒同士が離れている。
(縦横斜めで隣り合っていない)

◎先手の条件

- ・68銀、38銀の順に連続して指した(取られた)

◎後手の条件

- ・4手目以降「同X」の連続
- ・飛不成で飛を取った。16手目と42手目は桂不成で桂を取った。
- ・2回連続の王手が2度あった。角の連続王手では歩を2枚取った。

さて、桂ががんばっている投了図とはどんな将棋だったでしょう。推理してください。

<第9回詰四会フェアリー作品展 第4番>

76歩 32飛 33角生 同飛 36歩 同飛 16歩 同飛 26歩 同飛 13香生 同桂 25歩 同
桂 37桂 同桂生 66歩 同角 75歩 同角 96歩 同飛 98飛 同飛生 86歩 同角 77歩
同角生 68銀 同飛生 38銀 同飛生 68金 同飛生 93香生 同桂 85歩 同桂 48金
同飛生 77桂 同桂生 46歩 同飛生 56歩 同飛 57角 同飛成 まで 48手 正解
者: 4名